

2005年9月に米国の三つの大規模急性期病院の薬剤部と、一つのナーシングホームを見学する機会を得た。そのうち今

回は、マサチューセッツ総合病院(MGH)の薬剤部を中心に、大規模病院の薬剤師業務の概要に関して報告する。

神戸薬科大学 3年 中村 亜紀子

名谷病院 村山 良雄

病院薬剤部も24時間態勢

見学病院

ペンシルバニア州ピッツバーグにある University of Pittsburgh Medical Center (UPMC)、同センターが運営する The Heritage Shadyside Nursing Home、ニューヨーク州オルバニーにある St. Peter's Hospital (SPH)、マサチューセッツ州ボストンにある Massachusetts General Hospital (MGH) の三つの病院を見学した。そのうちMGHは世界で最も有名な病院の一つで、ハーバード大学の基幹病院である。

これら3病院は急性期病院で、米国の他の大規模病院と同様、検査科や放射線科と同じく薬局も24時間稼働している。勤務体制は個人の希望で、8時間勤務や12時間勤務が選択可能であり、また夜間みの勤務も選択できる。ちなみにMGHの薬剤部では、236人の職員が働いていた。

医療保険

日米の薬剤制度を比較する上では、医療保険制度の比較が必要になる。しかし日本の医療保険制度を一口で説明することは困難で、同時に年々変化しており、これは世界中、どの国でも同様と思われる。特に経済状態や高齢化率などの違いにより、医療・福祉予算に影響が及び問題となる。

日本は国民皆保険が定着し、ほとんどの国民が様々な医療保険の恩恵を受けているが、米国には全国民を対象とした公的医療保険が存在せず、国民の多くは私的保険に加入し

疾患ごとの定額制が主流

「米国病院薬局」見学記

ている。

私的保険の代表的なものにHMOとPPOと呼ばれるものがある。多くの人が加入しているHMOでは、DRG/PPSと呼ばれる疾患分類ごとの固定した診療報酬支払い制度で、受診可能な病院が限定されると共に、相当数の医療保険非加入者がおり、社会問題となっている。PPOはある程度、

日本の医療保険に似た出来高払いの要素もあるが、高額な保険料が必要で、いくつか制限もあるそう

その1

だ。公的医療保険には高齢者と身体障害者のためのメディケア、低所得者のためのメディケイドと呼ばれる制度があるが、メディケアでも入院患者に対しては、DRG/PPSにより、医療費・薬剤費の抑制が図られている。同時にメディケアは最長100日間しか各種サービスを受給できないという。



(写真1)



(写真2)

少ないヒートシール包装

米国の薬剤

米国では内服薬は錠剤かカプセルで、粉・散薬はない。その大半は日本のようにヒートパックされておらず、バラでボトルに入った状態で購入している。しかし、ごく一部にパック化された薬剤もあり、取り出しやすいように大きなパッケージを使用していた(写真1)。注射薬の多くはシリンジに入ったPrefilledの製品を購入し、それ以外は院内でPrefilledにして払い出される。全てのPrefilled製品にはバーコードが貼付されている(写真2)

薬価は日本のように全国一律に決められておらず、代理人がメーカーと交渉して病院・薬局ごとに決めており、薬局・病院・地域や季節により変動する。

また、DRG制度により病名ごとに医療費が決まっているため、安価な薬剤を使用する方が有利であるが、ジェネリック薬品について質問したところ、今回見学した病院、特にMGHでは積極的には対応していなかった。

その理由を「医師が好まない」「先発薬品と価格があまり変わらない」等と説明していた。日本では最近、コマーシャルなどで米国では50%近くがジェネリック薬品を使っていると宣伝されていることから、意外に感じた。

MGHは世界最大の治験センターでもあり、現在800種以上の薬剤について治験が実施されている。薬局内には偽薬を含め、各種の製剤のための部門があったが、これが先発薬剤を多用する理由の一つとも考えられる。

(次号に続く)

「薬事日報」をインターネットで

YAKUNET

YAKUNET

薬事日報データベース Medical Academy NEWS データベース DATABANK YAKUNET Mail News

いまなら無料でYAKUNETが試せます

YAKUNETの「無料おためし」を申し込むと約1週間有効なIDとPASSWORDがE-Mailで送信されます。送信されたIDとPASSWORDで、YAKUNETを無料で試すことができます。

まずは http://www.yakuji.co.jp/ にアクセス!



YAKUNETに関するお問い合わせ・申し込み 株式会社 薬事日報社 企画開発局電子メディア室 〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1番地 TEL: 03-5822-2455 E-Mail: info@yakuji.co.jp